

20 鎌倉文化

中世文学のおこり

西行「何事のおわしますをば知らねども かたじけなさに涙こぼるる」伊勢神宮で詠んだ。

歌集…「**山家集**」西行は藤原秀郷の8代孫、**北面の武士**であったことに注意。

新古今和歌集＝**後鳥羽上皇**が命じた勅撰和歌集、編者⇒**藤原定家**と**藤原家隆**

和歌集採用数一位が西行。二位が慈円。

源実朝＝『**金槐和歌集**』

古今著聞集＝橘成季の撰

行く河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず、

よどみに浮かぶ泡沫は、且つ消え、且つ結びて、久しくとどまりたるためしなし、

世の中にある人と住家と、またかくの如し。

鴨長明＝「**方丈記**」で決まり。

兼好法師＝『**徒然草**』

十六夜日記＝作者は**阿仏尼**

保元物語＝源為朝を主人公に保元の乱を描いた。

平家物語：琵琶法師によって**平曲**として語られて親しまれた。

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響有り。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理を顕す。

奢れる人も久しからず、只春の夜の夢の如し、猛き者も終には亡ぬ、偏に風の前の塵に同じ。

愚管抄：慈円は九条兼実の弟。後鳥羽上皇の信任を受け**天台座主**に任ぜられる。後鳥羽上皇の倒幕計画に反対し、この書で道理に合わない行動は成功しないと説いた。キーワードは、**道理**と**末法思想**である。

おほけなく うき世の 民(たみ)に おほふかな

わがたつ袖(そま)に 墨染(すみぞめ)の袖

身の程もわきまえないことだが、このつらい浮世を生きる民たちを包みこんでやろう。

この比叡の山に住みはじめた私の、墨染めの袖で。

吾妻鏡：鎌倉幕府の歴史を幕府自身が編年体で編纂した歴史書である。早稲田

百練抄：冷泉天皇から後深草天皇までを記した編年歴史書。

元亨釈書：**虎関師錬**の日本最初の仏教通史。

禁秘抄：**順徳天皇**著の有職故実書。

有職故実：

有職故実の研究が貴族社会で盛んになったのは、権力を武士に奪われ、昔を懐かしむ後ろ向きさの表れと考えよう。だから承久の乱後、権力を奪われた順徳天皇の『**禁秘抄**』と、南北朝の動乱での北畠親房の『**職原抄**』である。

金沢文庫：**北条実時**が開設。金沢実時でも可。

大仏様【**東大寺南大門**】が代表的建築。



て活躍した。



た。

六波羅蜜寺に伝わる肖像彫刻の**空也上人**像は運慶四

康勝の作である。

東大寺は以仁王の挙兵に味方したため、1180年の平重衡による南都焼討によって大仏殿など焼失。東大寺は宋人の**陳和卿**の協力を得ながら⇒**重源**(浄土宗：3度入宋)が勸進職に任じられ諸国へ勸進、1195年完成。これが天竺様で、大仏殿の再建などに用いられたので大仏様の別名がある。118年キャプションもよく読むこと。豪放で力強いのが大仏様の特徴。現存するのが南大門、左の写真である。この大仏再建に協力したのが

陳和卿で、大仏の頭の鑄造や、大工の親分とし

禅宗様…**円覚寺舎利殿**が代表的建築。室町期北山文化の**金閣**の上層部や東山文化の**銀閣**の上層部が**禅宗様**なのも重要。

同じく宋から伝わったのが唐様で、シンプルな造りは禅宗の趣味とあって禅宗寺院の建築に用いられた。この建物は室町時代のもの。

和様…平安以来のやわらかな様式

蓮華王院本堂(三十三間堂)が代表的建築。

折衷様(新和様)…和様に大仏様・禅宗様を混合 ex **観心寺金堂**[大阪]

奈良仏師

運慶・**湛慶**・**快慶**らがいる。興福寺無着・世親像は【**運慶**】らの作で写実性にすぐれている。

【**快慶**】は東大寺南大門金剛力士像の阿形をつくったとされる。慶派の力強い作風は鎌倉武士の好みと一致し、数々の需要に答え



Pain is inevitable Suffering is optional

康弁らの作の興福寺の **天灯鬼像**・**竜灯鬼像**にはある種の滑稽さがある。絵は北高生の作品である。

似絵

似絵 は個人の肖像画で **藤原隆信**・**藤原信実** が代表的作家。禅宗の僧侶が師僧の肖像画（**頂相**）を崇拜する風習が広まった。



瀬戸焼

尾張の **瀬戸焼** や常滑焼、備前の **備前焼** など。



早稲田大 文化構想 2016

次の歴史書・歴史物語と、その組み合わせとして、正しいものはどれか。

- 《歴史書》
- P「吾妻鏡」Q「大鏡」R「愚管抄」S「梅松論」T「増鏡」
- 《説明》
- V 撰閲家を中心とする歴史を和文体で書いた。
- W 武家政権の出現に至る歴史を「道理」の観念で書いた。
- X 源平争乱の時期以後の歴史を公家の立場で書いた。
- Y 鎌倉幕府の歴史を編年体で書いた。
- Z 足利氏の政権獲得までを武家の立場で書いた。



絵巻物

円伊の『**一編上人絵伝**』は文化より産業の発達の問題として、よく出る。**藤原信実**の作とされる『**北野天神縁起 絵巻**』は、菅原道真が大宰権帥に左遷されたあと怨霊となり京都に戻ってくるシーンを描いている。ちなみに怨霊を鎮めるのが、**御霊会**。

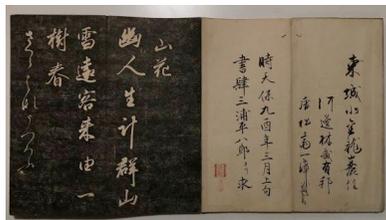
『**後三年合戦 絵巻**』は、清原氏の内紛における **源義家** の活躍を描いた絵巻物として知られる。

『**春日権現験記**』は、春日大社の霊験や鎌倉時代の建築現場などを描いた高階隆兼の絵巻である。『**蒙古襲来絵巻**』は、**肥後** 国の御家人 **竹崎季長** の蒙古襲来時の活躍を描く。蒙古襲来時の恩賞奉行 **安達泰盛** も登場するし、元軍の兵器 **てっはう** 描かれているのでそれもあることがある。



青蓮院流

尊円入道親王 は伏見天皇の皇子で **天台座主** となった。



刀工

備前 **長光**、京都 **藤四郎吉光**、鎌倉 正宗ら。